

札幌社保協 FAXニュース

2009年 3月18日(水)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期高齢
110番は3/26です

保育料値上げ見送りはうれしいーしかし安心できる保育の実現も ＝保育連・保育労組が市と交渉＝



3月12日、札幌保育連絡会・札幌保育労組が札幌市子ども未来局・子育て支援部長交渉を行い、110名の父母・保育者等が参加。今年度最後の交渉でしたが、保育料値上げが見送られるという大きな成果があり、木下札幌保育連会長の報告に参加者から大きな拍手がありました。自営業を営む北区の母親からは「今年は特に仕事がきびしく、保育料据え置きはありがたい」と発言がありました。

しかし課題も多く、800名を超える待機児童と2千名を超える超過入所、その対策でわずか500万円の補助しかつかない認可移行促進事業や分園の実施、さらに公立保育所（新琴似乳児・東札幌乳児など）の連続廃園、市有地貸与の有償化等が話し合われました。参加者から、本当に待機児や超過入所が解消されるのか、安上がり施策は子どもの安全や保育の質を下げるとの声が出されました。また保育現場からは、臨時職員の先行き不安や生活の大変さ、過密保育や職員の努力だけでは子どもたちや父母の要求に応えきれないという実態発言が相次ぎました。

最後に、国の保育制度改悪を許さないたたかいをしていこう、行政と保育園・父母がいっしょになって「札幌市子どもの権利条例」を実践していこうとのまとめ発言で終了しました。

案内ビラを見て「就学援助相談会」に～新婦人の集団申請

毎年行っている新婦人の「就学援助」の相談・申請が3/16に行われました。各支部で事前に申請書を受けつけた以外に、当日はビラを見てきたという人が10人来場。1・3・6歳の3人の男の子を連れてお母さんは「夫(トラック運転手)の年収は300万円に満たず、家族が多いと大変なんです」と、長男の小学校入学で申請に訪れました。この日は24件の申請で21件が受理されました。

新婦人ではこの日に向け、各支部で幼稚園や保育所にチラシを置かせてもらったり、また、小学校の1日入学などでの校門前のチラシ配布を行ったり、イメージアップチラシの地域配布など宣伝をしてきました。



3.13重税反対 統一行動 消費税増税反対! 暮らし・営業を守ろう!

重税反対統一行動西・手稲集会は3月13日ちえりあで行われ、150人が参加。千田会長は開会の挨拶で、業者国民の厳しい実体にふれながら、政府・財界が狙う消費税増税に反対し、年内の総選挙で増税勢力を追いつめようと訴えました。特別講演では、斉藤札幌社保協事務局長が社会保障財源に消費税増税は必要か、のテーマで講演しました。

各団体からは、年金者組合、新婦人、生活と健康を守る会、地区労連西区手稲区協議会、革新塾、勤医協西区病院、西民商の代表が報告と決意表明を行いました。

国保料滞納者には預貯金を調査

3/17に道生活と健康を守る会の札幌市交渉が行なわれました。国保料の減免問題では、母子家庭が子どもの進学に備えていた貯金があるからとか、老後の生活費の補填に蓄えていた貯金があるなどとして、減免を認めなかったり、滞納の一括払いを迫られる事例が増えていることが指摘されました。

市側は2008年から保険料滞納者の預貯金調査の「徹底」を行っていることを認め、所得激減減免では預貯金は対象になっていないことに、「要項に書いていないからできないということではない」という態度を示しました。

